

1.1 : 問題

(正解→P22、解説→P23～)

問題 1-1 エラーとは？

- ①要求される機能の故障を引き起こすもの
- ②コンポーネントやシステムの期待される成果、サービス、あるいは結果からの逸脱
- ③誤った結果を生む人間の動作
- ④調査が必要とされるようなイベントの発生

問題 1-2 バグとは？

- ①要求される機能の故障を引き起こすもの
- ②コンポーネントやシステムの期待される成果、サービス、あるいは結果からの逸脱
- ③誤った結果を生む人間の動作
- ④調査が必要とされるようなイベントの発生

問題 1-3 誤りとは？

- ①要求される機能の故障を引き起こすもの
- ②コンポーネントやシステムの期待される成果、サービス、あるいは結果からの逸脱
- ③誤った結果を生む人間の動作
- ④調査が必要とされるようなイベントの発生

2.3 : 解説

問題2-1 ~ 4

ソフトウェアライフサイクルには、“テストレベル”、“テストフェーズ”、“テストタイプ”、“テストカバレッジ”という異なる観点のテストの分類があります。特にテストレベル、テストフェーズ、テストタイプの3つの区別がついていないために、開発の現場でミスコミュニケーションが起きているのを見かけることがあります。テストの円滑な実施のためにも、これらを正しく使い分けられるように理解しておきましょう。

■ テストレベル (test level)

システム開発では、プログラムの最小単位（たとえばクラス）であるコンポーネント（ユニット、単体）、コンポーネントを統合したソフトウェア、ソフトウェアやハードウェアや設備を統合し業務フローを実現するシステムへと段階的に開発され、最終的にシステムが引き渡されるわけですが、テストレベルはこれらの中で行われるテストの段階を指します。

JSTQBでは、一般的なテストレベルとして次の4つのテストレベルを挙げています。

- ①コンポーネントテスト
- ②統合テスト
- ③システムテスト
- ④受け入れテスト

ここに挙げたテストレベルはあくまでもJSTQBのシラバスでのテストレベルです。実際の開発ではもっと多くのテストレベルを定義することも少なくありません。たとえば筆者の参加したJavaEEを使った開発では、図5のようにクラス単位でテストするユニットテスト、EJB単位にテストする統合テスト1、サブシステム単位にテストする統合テスト2、システ